

# 高松市立古高松南小学校 体力向上プラン

## 【学校教育目標】

心豊かに 自ら考え行動できる児童の育成

めざす児童像 気づき 考え 行動しよう

～かしこく・やさしく・元気よく～

## 【本校の課題】

- 男女とも、20m シャトルランや 50m走の値が低く、県・全国平均を下回っている。
- 自分から進んで体を動かそうとする児童とそうでない児童に大きく2極化されている。
- 全学年を通して、運動習慣が身につけていない児童が多く、運動に対する積極性が低い。

## 【現状】

朝から運動場に出て元気よく遊ぶ姿や、休み時間にも積極的に外へ出て行く様子が多く見ることができる。しかし、その一方で教室に多く残っている児童もいて、運動に対する二極化が進んでいると感じられる。

授業に対しては意欲的に取り組む児童が多く、体育の時間を楽しみにしている児童が多い。しかし、授業内容に関しては各学年団に任せきりなところが多く、系統的な体育学習が進められているとは言い難い。

また、1昨年度より行っている体力づくりの成果が少しずつ現れており、運営方法を改善しながら継続して行っていきたい。

## 【取組み】



### 年間計画の工夫

運動機会を増やすために、授業での運動量を確保する。そのために、体育で使用する環境・場を確保し、十分な運動のできる時間を保障した年間計画を実施する。

既存のルールで行うのではなく、経験の有無なく楽しめるルールを考え、運動への積極性を高めたい。



### 春の陸上強化練習の実施

高松市の記録会に向けて行っている夏の水泳、秋の陸上強化練習に加えて、全国小学生陸上競技交流香川県予選会への参加を含めた春の陸上強化練習を行う。

自己ベストを更新する喜びを味わわせることで、運動に対する苦手意識を取り除きたい。



### 体力づくりの工夫

さめきつ子チャレンジの種目を活用し、全校生で体力づくりの時間に取り組む。また、遊具を活用した体力づくり「みなみっ子SASUKE」と体育委員主催の「ナフトビチャレンジ」を秋から冬に行う。

多様な動きを経験することによって運動に対する感覚を身につけたい。

## 【目標】

- 体育の授業の運動量を増やし、体育が好きで運動に積極的な児童を育成する。
- ルールや場を工夫し、苦手な種目でも楽しみながら運動に参加する児童を育成する。
- 新体力テストの合計記録のワンランクアップを目指す。